

普及現地情報

天草地域内でのTMRデモ製造始めます！（天草）

天草地域では、肉用牛農家を中心にTMRの需要が高まっており、新たな段階に歩みを進めています。

TMRとは、粗飼料と濃厚飼料が混合された飼料のことで、利点として、飼料費の低減・給餌や粗飼料の栽培作業の負担軽減などが挙げられています。

昨年度、天草地域では11戸を対象に給与実証を行いました。その結果、農家からは「作業負担が軽減することで、高齢農家の営農継続が期待できる」等の意見があがり、地域全体にTMRの製造と給与体制の整備を求める声広がっていました。

このような状況を受け、関係機関で協議を重ねた結果、今年度はJAあまくさでのデモ製造と給与実証を行うこととなりました。

6月17日には「給与実証説明会」が開催され（参加者：26名）、当課からTMRの特徴や給与上の注意点・昨年度の給与実証結果を基に生産者と関係機関の理解醸成を促しました。今回の参加者の中から今年度の給与農家21戸（昨年度比：190%）が決定しています。

今後、地域内に製造体制が整備できれば、地域内での飼料用米や自給飼料の生産と利用が進んでいきます。当課でもこの目標に向かって継続して支援していきます。



天草畜産農協での説明会の様子

種類：普及活動（途中経過）

関連普及課題名：飼料用米の生産・給与推進による天草黒牛の産地育成

HP掲載可否：可

連絡先：天草広域本部 農業普及・振興課

地域農業支援班 名前：木村 真弓